

元気を出しなさい！

2009/2/1

中風の癒し<マタイ9:1~8>

イエスは舟に乗って湖を渡り、自分の町に帰って来られた。すると、人々が中風の人を床に寝かせたまま、イエスのところへ連れて来た。イエスはその人たちの信仰を見て、中風の人に、「子よ、元気を出しなさい。あなたの罪は赦される」と言われた。

ところが、律法学者の中に、「この男は神を冒涇している」と思う者がいた。

イエスは、彼らの考えを見抜いて言われた。「なぜ、心の中で悪いことを考えているのか。『あなたの罪は赦される』と言うのと、『起きて歩け』と言うのと、どちらが易しいか。人の子が地上で罪を赦す権威を持っていることを知らせよう。」

そして、中風の人に、「起き上がって床を担ぎ、家に帰りなさい」と言われた。その人は起き上がり、家に帰って行った。

群衆はこれを見て恐ろしくなり、人間にこれほどの権威をゆだねられた神を賛美した。

連れてこられた中風の人

- 「中風」とは全身(半身)が麻痺していること
- 家族か友だちがこの人を寝かせたまま、イエス様のもとへ連れてきた
 - 「イエスがおられる辺りの屋根をはがして穴をあけ、病人の寝ている床をつり降ろした。」
＜マルコ2:4＞
- イエス様のもとへ行けばきっと癒される、と信じていた

イエス様の不思議な言葉

■「子よ」

- －「神に愛されている子」という意味
- －親(創造主)としての愛情ある呼びかけ

■「元気を出しなさい」

- －あきらめずに、勇気をもちなさい

■「あなたの罪は赦される」

- －イエス様の関心は体ではなく霊にある
- －罪の赦しこそもっとも大切なことである

病氣と罪の関係

- 広い意味で病氣は罪の結果である
 - －「罪が支払う報酬は死です。しかし、神の賜物は、わたしたちの主キリスト・イエスによる永遠の命なのです。」＜ローマ6:23＞
- 特定の罪が特定の病氣の原因ではない
 - －使徒パウロでさえ様々な病氣に悩まされた
- 病氣は神を求める気持ちを起こさせる
 - －自分の弱さを悟り、神を見上げる

霊も体も

- 律法学者の不満
 - －「この男は神を冒涇している」
 - － 罪を赦すことができるのは神のみであるから
- 「罪の赦し」と「体の癒し」どちらが易しいか
 - － 人間にとっては「罪の赦し」、しかし神にとっては「体の癒し」の方がやさしい
- イエス様はこの人を癒すことで、その両方が可能であることを証明した

何のための健康か？

- 健康のための健康なら無意味である
 - － 長寿は神様からの祝福である
- 健康を用いる責任
 - － 健康(体)は神様からの贈り物(タラント)
 - － 有意義に用いなくてはならない
- 健康を損なっても神と人に仕えることはできる

神が与えられる本当の元気

■ 霊の元気

- － 罪の赦しによる神との関係の回復
- － 「神の子」として生きる幸い

■ 心の元気

- － イエス様に信頼することで与えられる、勇気、安心、希望

■ 体の元気

- － 神の栄光を顕わすための健康